

## 特殊処方

### IBIKINOKUSURI (いびきの薬)

生理食塩液(外用)	100mL
グリセリン	0.25mL(10 滴)

生理食塩液 10mL にグリセリン 1 滴で調製しても可。5mL の黄キャップの容器に入れて交付する。

### キシロカイン・アズレンうがい液

キシロカイン液 4 %	4mL
生理食塩液(外用)	200mL
アズレンうがい液 4 %	1 瓶(5~6 押し)
分 4	朝・昼・夕食前、寝る前

薬剤部では混和せず、それぞれ秤量して払い出す。200mL の水薬瓶を添付する。

患者様に 1 日分ずつ作成して頂く。

できあがった液は冷蔵庫で保管し、24 時間以内に使用して頂く。

<作成方法> 患者用説明用紙に記載

- ① キシロカイン液 4mL を水薬瓶に入れる
- ② 生理食塩液を加えて全量を 200mL とし、よく混ぜる
- ③ アズレンうがい液を混ぜる場合は、5~6 押し入れて軽く振る。

### 含嗽用ハチアズレうがい液

<処方例>

含嗽用ハチアズレ顆粒	12g
キシロカイン液 4 %	4mL
精製水	500mL

含嗽用ハチアズレ顆粒	14g
グリセリン	60mL
精製水	500mL

含嗽用ハチアズレ顆粒	14g
キシロカイン液 4 %	10mL
グリセリン	60mL
精製水	500mL

いずれも全量混和する。

全量 500mL となるように精製水を調製して払い出す。

## 高張生食吸入

塩化ナトリウム	3g
精製水	100mL

吸入 1日3回 1回3mL

それぞれ秤量し混和する。

## 耳垢水

炭酸水素ナトリウム	0.5g
グリセリン	2.5mL
精製水	7.5mL

それぞれ秤量し混和する。5mLの黄キャップの容器に入れて交付する。

## 重塩水

塩化ナトリウム	5g
炭酸水素ナトリウム	5g

上記を1包とする。500mLの水薬瓶を添付する。薬袋に「500mLの水に溶かして吸入」と記載する。

## 内服ルゴール液

ヨウ素	1g
ヨウ化カリウム	2g
精製水	100mL ※製剤室で調製

原液で全量を払い出す。

スポイト(1回量2mL)と60mLの水薬瓶を交付。患者様の方で1回分が全量60mLとなるよう水で希釈して使用してもらう。

## バンコマイシン散

バンコマイシン塩酸塩散	0.5g	1瓶
分	4	朝・昼・夕 食後、寝る前

外来では瓶のまま払い出し、患者様に水で溶解して頂く(飲料水でよい)。

溶解量は溶かしやすく、飲みやすい量でよい。必要に応じて水薬瓶やスポイトを交付する。

※入院処方、1瓶あたり精製水8mLで溶解し、水薬瓶に入れて交付する。水薬チケットに1回量を記載する(上記処方の場合は、1回2mLと記載)。

## ファンギゾン咳嗽

ファンギゾンシロップ 100mg	10mL
精製水	490mL

毎食前にうがいして内服する、1回 20mL

必要量のファンギゾンシロップと精製水を患者様に調製して頂く。できあがった液は冷蔵庫で保管し、1週間を目安に使用して頂く。

< 交付するもの >

- ・ファンギゾンシロップ原液
- ・ファンギゾンシロップ計量カップ
- ・精製水(原則 500mL のボトル製剤を交付)
- ・空の水薬瓶(全量に足りる量)
- ・うがい液計量カップ

## プレドニン吸入液

プレドニン注 20mg	1 アンプル
生理食塩液(外用)	20mL

シリンジを用いて、プレドニンを生理食塩液で溶解する。60mL の水薬瓶に移し、生理食塩液を加えて、全量を 20mL とする。

## ボスミン吸入

< 処方例 >

ボスミン外用液 0.1%	1mL
生理食塩液(外用)	1mL
吸入	1日3回、1回 2mL

ボスミン外用液 0.1% と生理食塩液を 1:1 で混合する。主に小児科でクループに対する治療に使用する。

## ロペミン咳嗽

ロペミン小児用細粒 0.05%	1mg
-----------------	-----

1包を 100mL の水に溶解して適宜うがい

ロペミンは処方日数分を秤量する。

100mL の水薬瓶を交付する。

患者様に 1日分の細粒を指示量の水で溶解して頂く。

口腔内の疼痛、口内炎等に使用する。